

6 待乳山聖天

浅草寺の子院。正式名称は本龍院という。浅草寺創建より古い推古3年(595)、突然、待乳山が盛り上がり、金龍が降りて来てこの山を守ったという。本尊の大聖歓喜天が祀られている。境内には「トッキー渡来の碑」が立つ。



5 隅田公園

昭和6年(1931)に完成した台東区と墨田区の両岸にまたがるリバーサイドパークである。台東区側は堤に沿った細長いエリアで、スポーツセンターや競技場がある。墨田区側は江戸時代、水戸徳川家の江戸下屋敷(上屋敷は小石川後樂園である)で小梅御殿と呼ばれていた。言問橋より下流側の一部が日本庭園となっており、これは小梅御殿にあった池泉廻遊式庭園である。将軍家からこの地を拝領したのは元禄6年(1693)のことである。



4 浅草寺

江戸市中の寺院の中でも最古の寺であり、本尊は聖観音菩薩像である。幕府の手厚い庇護により近隣に遊興の街が形成されたことなどから江戸一番の繁華街となった。地震、雷、火事など、何度も被害に遭ったが、その度に修復されてきた。本堂は3代将軍家光が1649年(慶安2年)に再建し、約300年後に戦災で焼失するまで国宝に指定されていた。

